議員全員協議会で市内各工事現場を視察

それぞれの場所で担当者からの説明を聞き、視察し、質疑や活発な意見交換が行われました。 議員全員が幸手市内工事現場を視察したことで、 より一層明確な理解ができました。

協議会調察

平成29年6月14日冰

古川橋

橋長 30.5m

幅 11m(車道7m、歩道3m、

その他両端の高欄部分60cm・40cm)

橋脚 高さ11.8m

600mmの基礎杭、長さ45mの24本

今回の整備は、現在の川幅で「暫定形」として施工します。将来、河川改修が行われる際には、更に外側15mずつ橋を付け足す計画となっており、全長60mで完成形として設計しています。

昨年度は川の右岸側、今年度は左岸側となります。平成30年度には護岸工を施工し、31年度は道路部分を施工する予定です。

また、橋の直近で現状の道路より約2m高くなります。それは中川の計画高水位との兼ね合いから、以前の橋よりも高くしなければならないためです。

(道路河川課)





幸手駅舎(仮駅舎)



〔自由通路および橋上駅舎整備事業の進捗〕

新設 警察派出所/仮駅舎/仮跨線橋/仮旅客トイレ 解体 既存警察派出所/既存旧定期券売場/既存旅客 トイレ/既存駅舎/既存上屋一部/既存跨線橋 〈平成29年度事業概要〉

- ●協定締結日 平成29年4月3日
- ●工事内容 自由通路および橋上駅舎新設 杭工事、鉄骨工事
- ●着手予定 平成29年8月
- ●工事費:自由通路整備工事 6億1095万円 橋上駅舎整備工事 5億1797万円





幸手市ひばりヶ丘桜泉園(し尿処理施設)

施設稼動開始後30年以上を経過し、建物自体については、50年程度の耐用年数を有していますが、主要設備装置の老朽化が進行し、平成26年~27年度に、主要設備の改修等施設延命化のための施設設備(基幹的設備改良工事)実施し、目標を平成37年度とする延命化を図りました。(環境課)

〔し尿処理施設基幹的設備改良工事〕

- ●工期 平成26年10月3日~平成28年3月20日
- ●請負代金額 7億8084万円 財源内訳:国庫補助金 3億1355万4千円 地方債 4億1660万円 一般財源 5068万6千円
- ●工事概要 受入貯留設備 主処理設備 高度処理設備 汚泥処理設備 脱臭設備

その他



幸手市一般廃棄物最終処分場

平成28年9月、最終処分場の浸出水処理工程の一つであるNo.1酸化用回転円板が稼働停止してしまいました。

現場にて調査したところ、長年の稼働により円板に付着した物質(カルキや微生物など)の重量に、主軸を固定している部品が経年劣化により耐えきれなくなり離脱し、中心線がずれたことで主軸自体が折れてしまったことが考えられます。(環境課)

〔最終処分場No.1酸化用回転円板補修工事〕

●工期 平成28年12月13日~

(当初) 平成29年3月24日 (変更) 平成29年6月30日

●請負代金額 2214万円 財源内訳:一般財源 2214万円

●工事概要

幸手市一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設の生物 処理設備であるNo.1酸化用回転円板の補修工事



(15)